

科目ナンバー	REL-1-005-sn			科目名	キリスト教と芸術		
教員名	大嶋 果織			開講年度学期	2020年度 後期	単位数	2
概要	世界各地のキリスト教芸術を音楽を中心に、関連する絵画や教会建築を紹介する。それぞれの作品の歴史的社会的文化的背景を学び、作者の信仰・思想に思いを馳せながら鑑賞したい。この授業の特徴は、後半で非ヨーロッパ世界の作品を扱うことである。100年前には世界のキリスト教人口の80%をヨーロッパと北米が占めていたが、今やキリスト教人口の60%以上をアジア、アフリカ、ラテンアメリカ等、非ヨーロッパ世界が占めている。これらの地域では、それぞれの民族文化とキリスト教信仰の葛藤・融合の中から新しいキリスト教芸術が生まれている。新しい作品を生み出す社会的背景を学び、作品理解を深めていこう。なお、授業計画はパイプオルガン見学等の日程によって、順番が入れ替わることがある。						
到達目標	・良く知られた音楽、絵画、彫刻、建築がどのような聖書の言葉や物語と関連しているか、説明できるようになる。 ・キリスト教信仰の表現の多様性に気づき、宗教と文化の結びつきについて理解を深める。 ・芸術作品に触れた時、その作品の社会的文化的背景を調べ、作者の思想を読み取ろうとするようになる。						
「共愛12の力」との対応							
識見		自律する力		コミュニケーション力		問題に対応する力	
共生のための知識	○	自己を理解する力	○	伝え合う力	○	分析し、思考する力	○
共生のための態度	○	自己を抑制する力		協働する力		構想し、実行する力	○
グローバル・マインド		主体性		関係を構築する力		実践的スキル	
教授法及び課題のフィードバック方法	実際に音楽を聴いたり、デジタル画像で絵画や建築を鑑賞したりしながら、作品について講義する。また「讃美歌21」の中から関連する歌と一緒に歌うこともある。その際は音が外れても構わないので一緒に声をだしてほしい。楽器(ギターなどの弦楽器、リコーダー、フルート、オカリナなどの笛類、各種ドラム、民族楽器など)による授業参加も奨励する。また、毎回コメントペーパー提出を求める。						
アクティブラーニング	○	サービ斯拉ーニング			課題解決型学修		
受講条件 前提科目	特になし						
アセスメントポリシー及び評価方法	コメントペーパーの内容ならびに演奏協力やプレゼンなど授業への積極的参加(35点)、レポート(事前学習を兼ねた小レポート2回15点×2回、期末レポート35点)により、作品理解度を含め総合的に評価する。期末レポートは通常の文字表現だけでなく、作曲や演奏、美術作品の発表でも可。						
教材	『聖書』『讃美歌21』、その他適宜プリントを配布する。また、録音や映像などデジタルデータを利用する。						
参考図書	田村和紀夫、鳴海史生『音楽と思想・芸術・社会を解く 音楽史17の視座 ～古代ギリシャから現代まで』音楽之友社 1998年；竹中正夫『美と真実 近代日本の美術とキリスト教』新教出版社 2006年；大塚野百合『「主われを愛す」ものがたり：賛美歌に隠された宝』教文館 2013年；大塚野百合『賛美歌・唱歌とゴスペル「荒城の月」「オー・ハッピー・デー!」などをめぐって』創元社 2006年；テゼ共同体『愛するという選択 テゼのブラザー・ロジェ』サンパウロ 2012年；佐々木しのぶ、佐々木悠『キリスト教音楽への招待聖なる空間に響く音楽』教文館 2012年；ペン編集部編 池上英洋監修『Pen Books キリスト教とは何か。Ⅰ 西洋美術で読み解く 聖書の世界』阪急コミュニケーションズ 2011年；ペン編集部編『Pen Books キリスト教とは何か。Ⅱ もっと知りたい! 文化と歴史』阪急コミュニケーションズ 2011年；DVD『とっておきの讃美歌物語「アメイジング・グレイス」から「きよしこの夜」まで』						
内容・スケジュール							
1週目							
授業学修内容	オリエンテーション信仰と芸術 キリスト教の伝搬経路を確認し、キリスト教信仰は伝搬した土地の文化や歴史と結びつきながら、さまざまな芸術的形態で表現されていることを概観する。						
授業外学修内容	シラバス閲読					時間数	0.5
2週目							
授業学修内容	中世ヨーロッパの教会音楽 音楽が生まれる場としての中世修道院に注目し、「グレゴリオ聖歌」を中心に鑑賞する。また、キリスト教禁教時代を経て潜伏キリシタンによって伝えられた「グレゴリア聖歌」にも耳を傾けたい。						
授業外学修内							

容	指定する聖書箇所ならびに資料を事前に閲読	時間数	0.5
3週目			
授業学修内容	J.S.バッハの教会音楽 宗教改革がどのようにキリスト教音楽に影響を与えたかを確認し、バッハの作品を鑑賞する。特に、音楽と礼拝との関係に注目する。		
授業外学修内容	指定する資料を事前に閲読	時間数	0.5
4週目			
授業学修内容	古典派・ロマン派の宗教音楽 市民階級が音楽の担い手となることで起こった変化と、新しい宗教音楽の誕生に注目する。モーツァルトやベートーベンなど、よく知られた作曲家の宗教曲を鑑賞する。		
授業外学修内容	指定する資料を事前に閲読	時間数	0.5
5週目			
授業学修内容	ヨーロッパの教会建築と美術 初期キリスト教美術、東方ビザンチン美術、西方中世の美術、ルネサンスを経てロマン主義・新古典主義、そして現代までの美術の流れを概観する。建築に関しても、有名な教会建築を見ながら、その変化を学ぶ。		
授業外学修内容	指定する資料を事前に閲読	時間数	0.5
6週目			
授業学修内容	オーソドックス教会の音楽と美術 東方教会の礼拝の特徴、教会の特徴、音楽の特徴を動画を用いながら学ぶ。		
授業外学修内容	指定する資料を事前に閲読	時間数	0.5
7週目			
授業学修内容	パイプオルガン見学 バッハの時代に大きく発展したパイプオルガンを、共愛学園高校の大礼拝堂に行ってみ学し、間近で音を聞く。		
授業外学修内容	指定する資料を事前に閲読	時間数	0.5
8週目			
授業学修内容	ゴスペルの多彩な展開 17世紀北米の奴隷制度の中で生まれた黒人賛美から発展したゴスペルの歴史を学ぶ。アフリカン・アメリカンの信仰がどのように歌になって表現されているかを、有名なゴスペル曲を聴きながら確認する。		
授業外学修内容	指定する資料を事前に閲読ならびに小レポートを事前に提出	時間数	4
9週目			
授業学修内容	アフリカのキリスト教と音楽 アフリカとキリスト教の関係を学び、アフリカの人々の表現形態がどのような形で礼拝や賛美歌に反映されているかを学ぶ。理解を深めるためにアフリカの伝統音楽にも動画を通して触れる。現代アフリカのキリスト教音楽の例として、南アフリカで結成された音楽グループの歌を鑑賞する。		
授業外学修内容	指定する資料を事前に閲読	時間数	0.5
10週目			
授業学修内容	ラテン・アメリカの解放の神学と新しい賛美歌 軍事政権下で生まれた「解放の神学」と、それに触発されて生まれてきた新しい賛美歌を学ぶ。『讃美歌21』に収録されている賛美歌も一緒に歌う。		
授業外学修内容	指定する資料を事前に閲読	時間数	0.5
11週目			
授業学修内容	ヨーロッパの新しい潮流 アイオナ共同体、テゼ共同体の思想と音楽 第2次世界大戦を背景に生まれてきた新しいキリスト教共同体運動について学び、その運動の中で創作されてきた賛美歌を観賞し、また、歌う。		
授業外学修内			

容	指定する資料を事前に閲読	時間数	0.5
12週目			
授業学修内容	味わおう、世界各地のクリスマスの歌とクリスマス絵画 履修者が事前に提出したレポートに基づきながら、クリスマス賛美歌とクリスマス絵画を鑑賞する。		
授業外学修内容	指定する資料を事前に閲読ならびに小レポートを事前に提出	時間数	4
13週目			
授業学修内容	「竹」を架け橋に アジアの賛美歌と美術 アジアの多様な文化に入ってきたキリスト教は、賛美歌や美術の面でも、多様な展開を見せている。西洋音楽や西洋絵画とは表現形態が異なるアジアの諸作品を味わう。		
授業外学修内容	指定する資料を事前に閲読	時間数	0.5
14週目			
授業学修内容	「和」と「琉」の信仰表現 日本の賛美歌、絵画、教会建築と琉球賛美歌 日本人による賛美歌、琉球音階による賛美歌や琉球語の讃美歌を鑑賞する。また、版画による聖書の絵や、和と洋の合体である教会建築なども写真を見ながら鑑賞する。		
授業外学修内容	指定する資料を事前に閲読	時間数	0.5
15週目			
授業学修内容	学生プレゼンテーションとまとめ		
授業外学修内容	指定する資料を事前に閲読	時間数	6
上記の授業外学修時間の合計		20	
その他に必要な自習時間		70	

Number	REL-1-005-sn	Subject	Christianity and Art			
Name	大嶋 果織 (Oshima Kaori)	Year and Semester	S	Second semester for 2020	Credits	2
Course outline	The purpose of this course is to introduce students to the historical and modern works of Christian music, arts and church architecture in Western society as well as in Asia, Latin America and Africa where Christian population is growing. Students learn historical, social, and cultural background for each work, appreciating them while contemplating the artists' faith and beliefs.					